



飛騨っ子



令和5年12月19日発行 NO9
 飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
 家庭教育推進専門職 : 水口 悟
 TEL: 0577-33-1111 (内線 235)
 E-mail: mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp



学校行事 参画 型!

令和5年10月2日

神岡中学校
3学年学級委員の皆様へ

神岡中学校長
学級委員長
3学年主任

第34回ふるさと健脚大会 運営スタッフ協力募集のお願い

昨秋の秋、保護者の皆様におかれましてはご多忙のこととお察し申し上げます。
 さて、秋の平瀬地区にもお盆をいたしました。ふるさと健脚大会の口が空っぽになりました。
 よろしくお盆をいただき、平瀬地区の秋の花火も盛りだくさんの夜に楽しみ、また予定、先程を目撃する事で、物事を動かすに
 やりきる覚悟を込めようと思っております。

子供、子供達が安全に遊ぶことも、保護者の皆様方に運営スタッフとして協力をお願いしております。
 できる限り多くの方に協力いただき、子供達も楽しみな安全な大会を開催する事が目標です。
 ご参加にも、元気が出る秋の健脚大会にコース調整などを手伝っていただけましたら大変ありがたいです。
 恐れ入りますが、10月6日(金)までに、御参加の申込書にご記入の上、返付にて提出をお願いします。

記

1. 日程 令和5年11月2日(木) 13:00~16:00 (開脚スタート13:30)
 約10kmコース 神中グラウンドスタート・ゴール (朝日広一郎邸-西野町-小倉-栗原-福本町-公園前)

2. 主な協力内容 (1) 健脚コース途中に立ち、コース調整及び子供への安全指導、自動車への妨害の防止及び
 補助車での応援、ゴミの回収
 選手服装チェック

(2) 受付・案内
 (3) 記録・写真撮影
 (4) ゴールの運営調整等、本部での作業

3. 運営協力スタッフ募集は10月27日(金) 19:00
 その前、5時までに必ずご返信いたします。
 ひとりでも多くの保護者の皆様の御協力を

**協力保護者 44名
 (生徒数 53名)**

【ふるさと健脚大会スタッフ】(10/27)		
3年 組 番 生徒氏名	ふるさと健脚に協力 ()	協力の都合がつかない場合はD-印を記入し、特に断りの必要ありません
	協力して頂ける方のお名前 (生徒との続柄も)	協力して頂ける時間 (全時間OKの方は記入無しで)
		時 分 ~ 時 分
		時 分 ~ 時 分
		時 分 ~ 時 分

※ご協力いただける方、そうでない方、どちらの方も、御返答の提出をお願いします。

◇ 第34回 ふるさと健脚大会 思いやり 自制心

○期日:令和5年11月2日(木)

○会場:飛騨市立神岡中学校 ○主催:3学年学級委員会

保護者の方々に見守られながら紅葉の街中を走りぬく生徒の姿は、とても清々しかった。神岡中学校3学年の世代を超える伝統の親子行事です。

・手づくりの大会運営!

大会前には、近隣でクマが出没したこともあり、役員の方々が中心となり、コースやスタッフの位置を幾度も検討されました。また、伝統ある大会を安全に運営するために、例年よりも多くの保護者の皆さんが駆けつけてくれました。

2階の調理室では、保護者の方が大会終了後に全員で食べる豚汁を仕込んでいました。これも大切な伝統の一つです。そして、閉会式では上位入賞者のみが賞を受けるのではなく、誰もが表彰されるようにと学級委員さんのアイディアによる楽しい賞が読み上げられました。この取組は、学校行事参画型家庭教育学級と言えます。保護者の皆さんが、伝統ある大会に積極的に参画し、学級づくりをしているところがすばらしい。



みなさん〜
クマ鈴をつけてください



・私たちも走りました!

保護者(スタッフ)の方々の声です。「自分たちが中学生のときに体験したことを、今わが子たちが体験していることが尊いです。母校のこの行事が続いていなければ、親としてこのような思いになることはありません。」「親子ともに乳幼児期からつながりがあり、『あの子大きくなったな〜、がんばれ!』と保護者みんなが応援していると思います。」



伝統の豚汁
ありがとうございます!



がんばれ〜

◇ まるごと家庭教育の日 家族の大切さ 命の大切さ

○ 期日:令和5年12月9日(土) ○ 会場:下呂市立宮田小学校 ○ 主催:宮田小学校 PTA



□ 第一部 「親子活動 ① 親子レクリエーション ② モルック」



①親子レクリエーション ～ すき焼きゲーム ～

「家族で協力して、今晚のすき焼をつくりましょう〜!」下呂市レクリエーション協会の方と家族の代表者がジャンケンをして、勝った場合のみ、準備された箱の中から具材が書かれているカードを一枚引いてくることが出来ます。なかなか揃わないスキ焼の具材に、家族みんながヤキモキします。「ネギばかりなので、お肉がほしい〜」「私の家は、豆腐ばかり・・・」。家族の代表者がジャンケンに勝つとみんな大歓声!。引いてくるカードが待ち遠しい〜。

< ジャンケン〜 ポン! >



お肉がほしいな〜



②モルック (1996 フィンランドで開発)

「ぴったり50点をめざして、12個の木片(スキttl)を倒して得点を重ねていきます。倒れたスキttlの本数が得点となります。1本のみを倒した場合には、示されている番号が得点となります。ミスが3投続いたら失格となります・・・」

下呂市レクリエーション協会の方の説明が終わると、家族対抗のゲームが始まりました。「お母さん、〇点ねらいやよ!」「お〜、うまい!」スキttlは倒されるごとに、広く散らばっていきます。どこをねらって投げるとよいのか、親子の作戦がポイントとなります。初挑戦のモルックに、親子と一緒に頭も身体も使い楽しみました。



< お父さん、しっかりねらってね! >

モルック棒を投げて12本のスキttlを倒します



□ **第二部 講演会** BIRTH ～自分で決めた愛しい命～

講師 伝動詩人 えいた（詩人・社会活動家） DAI（ロックバンドおかんボーカル）



< えいたさんによるメッセージ >

2人の講師は、自身の「命」に関わる幅広い経験と学びを音楽と映像、そして最後に書で体育館に集まった参加者の皆さんに語り伝えられました。



- ・わが子が生まれてきたときの素直な思いを大切に
みなさんは、自分の個性を選び自分のことが好きで、この家族のもとに生まれてきました。生まれてきたことの意味（命の大切さ）と、家族が一緒にいることの尊さ（家族の尊さ）を見失わないでほしいです。



< DAIさんによる演奏 >

- ・まず大人が、自分自身を大切にする姿を
幼かった頃は、誰も自分のことが好きだったはずですが、大人に近づくにつれ、他人の目や評価が気になり始め、時には自分の欠点ばかりを考えこんでしまう場面も。誰とも比べることなく、自分は自分でいいんだと思うことの大切さを親（大人）自身が、姿で示していくことが大切です。



< DAIさんの演奏とえいたさんの書 >

- ・親（大人）ぶらなくてもいい
親子がそれぞれの思いを素直に伝え合うこと（時間）を大切にしたい。まずは、親（大人）からうまくいくこともうまくいかないことも素直に伝えてみてはどうでしょうか。家族は、幸せを分け合うために存在します。



<参加者の感想>

ありのままに生きるって勇気がいるな（難しいな）と思っていたけれど、ありのままの自分で生きていきたいと改めて思えた時間となりました。

・PTA会長さんから

いろいろな学校のPTA会長さんと話す中で、宮田小学校の強みは、『保護者・地域のあたたかいつながりがあるところ』だということを改めて理解できました。

・学級委員長さんから

コロナ禍が明け、親子で楽しむ時間をまるごと一日つくりたかった。計画することは決して面倒ではなく、みんながいいね!と、協力し実現できたことが嬉しいです。

・校長先生から

今日、こうして集えたことがキセキ!です。ここで感じた一人一人の思いを大切に、自分の弱さも強さもそのままに伝え合うことができる宮田の子であってほしい。

この日は、午後から講演会が開催されるということで、コロナ禍の影響でできなかった『お弁当の日』（平成22年度～）が再開されました。お弁当となると大変なので、各家庭で無理のない程度に実践できる『親子でつくるおにぎりの日』として開催されました。親子のふれあいあり学びあり感動あり・・・、すてきな一日となりました!